

カンファレンスコール

2011年度 第2四半期決算
(2011年4月1日～2011年9月30日)

説明者： 常務執行役員 坂井 学

開催日時： 2011年10月31日(月) 15:00～16:00



第一三共株式会社

製品関連	プロトンポンプ阻害剤 ネキシウム® (日本)	7月 1日 製造販売承認取得 9月15日 発売
	経口FXa阻害剤 リクシアナ® (日本)	7月19日 発売
	転移性悪性黒色腫治療剤 Zelboraf™ (米国)	8月17日 新薬承認取得/ コ・プロモーション開始
	排尿障害改善薬 シロドシン (中国)	8月25日 新薬承認取得
事業関連	北里第一三共ワクチン	8月19日 「細胞培養法ワクチン実生産施設 整備等推進事業」の事業者採択
	第一三共	9月中旬 インフルエンザHAワクチン出荷遅延 ならびに供給計画変更
	ルイトポルド(LPI)	9月1日 NY工場に対するFDAからの Warning Letter受理
その他	小名浜工場	8月下旬 生産再開

決算概況

連結損益計算書 推移

	2010年度 2Q実績	2011年度 2Q実績	2011年度	
			修正予想	進捗
売上高	4,989	4,560	9,300	49%
売上原価	1,385	1,289	2,650	49%
販売費及び 一般管理費	2,703	2,650	5,650	47%
研究開発費	893	841	1,900	44%
その他販管費	1,810	1,809	3,750	48%
営業利益	901	622	1,000	62%
経常利益	926	663	900	74%
当期純利益	522	370	500	74%

為替 レート	USD/円	88.95	79.81	77.00
	EUR/円	113.84	113.78	109.00
	INR/円	2.01	1.83	1.73

ランバクシーグループ ※

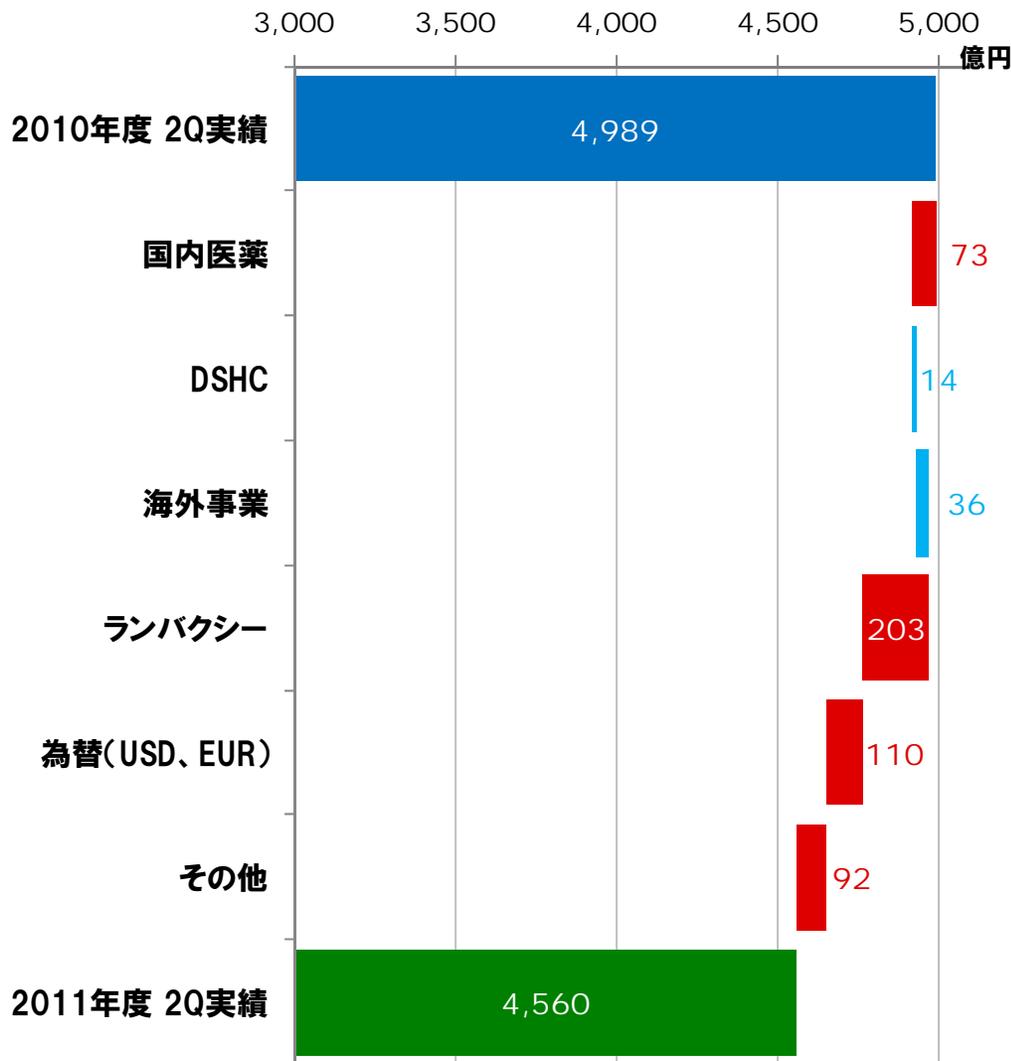
2010年度 2Q実績 (1-6月)	2011年度 2Q実績 (1-6月)	2011年度 (1-12月)	
		計画	進捗
987	786	1,620	49%
392	395		
335	322		
64	47		
271	275		
259	69		
292	100		
229	103		

※ 連結調整前の数値

単位: 億円



売上高増減要因



国内医薬 -73

- ・プラス要因: 新薬の寄与 +123
(メモリー +39、ネキシウム +26
レザルタス +41、クラビット注 等)
- ・マイナス要因: 販売権返還 -158
オルメテック・カルブロック -17
メバロチン -29
インフルエンザワクチン -23

第一三共ヘルスケア (DSHC) +14

- ・ロキソニンS、ルル類が寄与

海外事業 +36

- ・第一三共Inc. (DSI) +42
エフィエント +26
オルメサルタン +5、ウェルコール +7
- ・第一三共ヨーロッパ (DSE) +24
オルメサルタン +28
- ・アジア/中南米 (ASCA) +8
- ・ルイトポルド (LPI) -38
ヴェノファー -18

ランバクシー (RLL) -203 (内為替影響 -80)

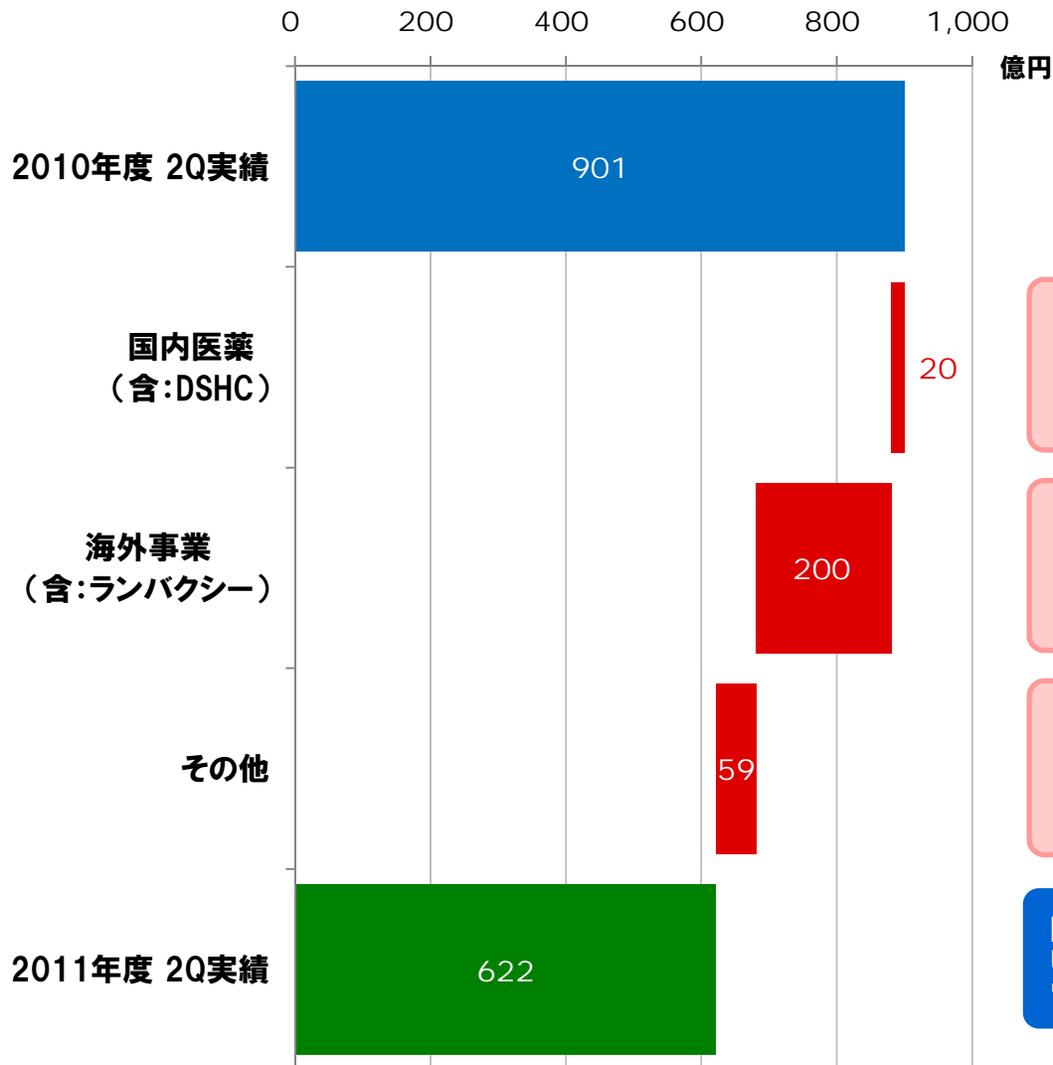
- ・プラス要因: インド市場での成長、ドネベジルの寄与
- ・マイナス要因: パラシクロピルの伸長(前期)
タムスロシナー時金収入(前期)

その他 -92

- ・プラス要因: Plexxikonの新規寄与
- ・マイナス要因: レボフロキサシン輸出・特許料等の減少
デノスマブー時金収入(前期)



営業利益増減要因



国内医薬(含:DSHC) -20

・販売移管による減益を、新薬拡大による製品構成改善等によりカバーしきれず。

海外事業(含:ランバクシー) -200

・ランバクシー
 バラシクロピルの伸長(前期)
 タムスロシナー時金収入(前期)

その他 -59

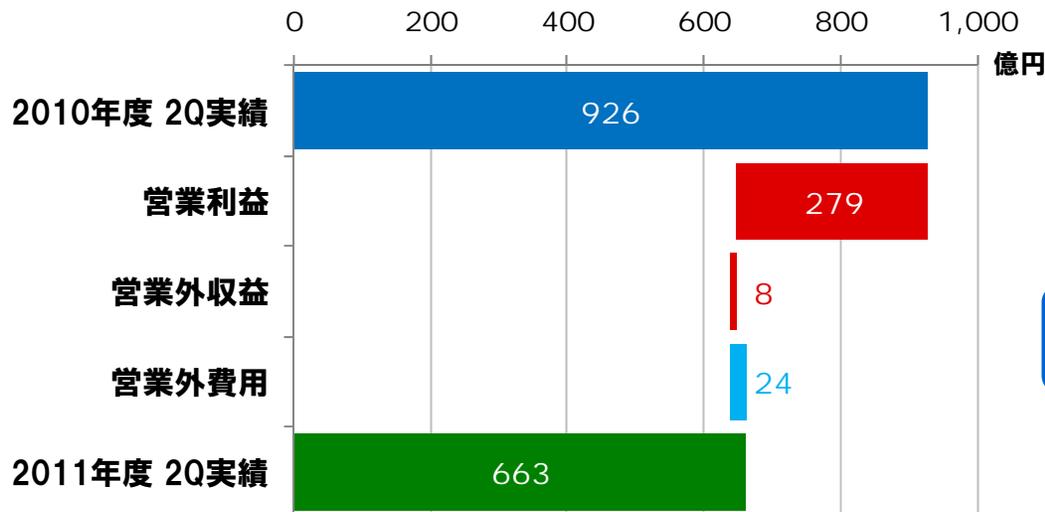
・プラス要因: Plexxikon
 研究開発費減
 ・マイナス要因: デノスマブ一時金収入(前期)
 輸出等(レボフロキサシン他)の減益

【再掲】為替の影響

USDおよびEURの日本円に対する為替変動で、営業利益で約10億円の減益の影響がありました

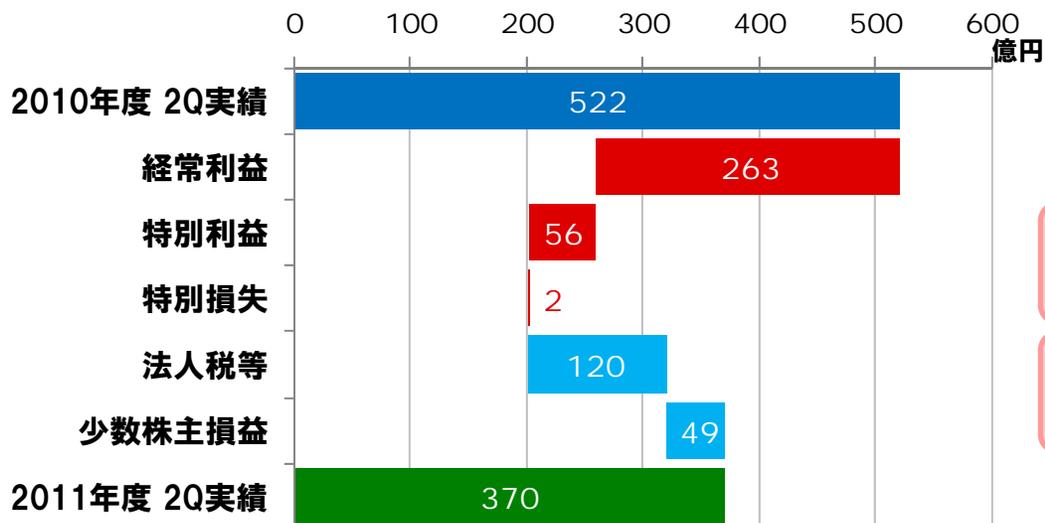


経常利益増減要因



営業外損益 +16
 ・ランバクシー 為替差損の減少等

当期純利益増減要因



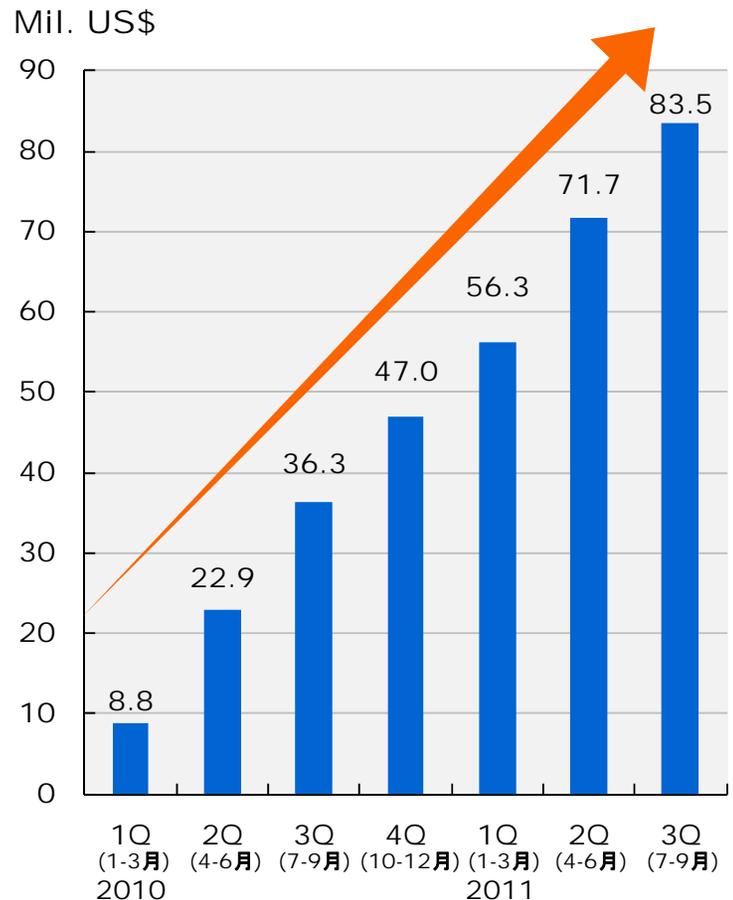
特別利益 -56
 ・投資有価証券売却益の減少
 ・固定資産売却益の減少

特別損失 -2
 ・投資有価証券評価損の減少
 ・災害による損失、棚卸資産廃棄損、事業再編損等

単位:億円

		2010年度 2Q実績	2011年度 2Q実績	2011年度	
				計画	進捗
グローバル	オルメサルタン	1,216	1,238	2,700	46%
	レボフロキサシン	339	264	530	50%
	プラバスタチン	237	202	380	53%
	プラスゲレル (共同販促収入)	18	45	非開示	-
日本	ロキソニン	269	301	580	52%
	アーティスト	120	124	230	54%
	オムニパーク	130	119	230	52%
	カルブロック	72	64	150	43%
	ユリーフ	49	54	110	49%
	メモリー	-	39	非開示	-
	ネキシウム	-	26	非開示	-
米国	ウェルコール	144	136	320	42%
	ヴェノファー	161	129	250	52%

プラスゲレル グローバル売上



*イーライリリーの発表ベース

当第2四半期の業績を踏まえ、通期の連結業績予想を修正します。

- 売上高については、円高基調の長期化を勘案し、第3四半期以降の想定為替レートを1米ドル 75円、1ユーロ 105円に変更しました。また、ルイトポルドファーマシューティカルズInc.における減収等を織込み、前回予想から400億円下方修正し、9,300億円と見込んでおります。
- 営業利益については、経費節減等により、100億円増の1,000億円となる見込みです。
- しかし、近時におけるインドルピーの対米ドルレート下落に伴い、ランバクシーで為替差損の発生が予想されるため、経常利益及び当期純利益については、前回の予想を変更しておりません。

領域	Phase 1	Phase 2	Phase 3	承認申請中
循環代謝	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-3150 (高血圧症治療剤) ■ DS-7309 (糖尿病治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DU-176b(米/欧) —(エドキサバン/静脈血栓塞栓(術後)/経口FXa阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ DU-176b(米/欧/日/亜) (エドキサバン/AF/経口FXa阻害剤) ■ DU-176b(米/欧/日/亜) (エドキサバン/VTE/経口FXa阻害剤) ■ CS-747(米/欧/亜) (プラスグレル/ACS-MM/抗血小板剤) ■ CS-747(日) (プラスグレル/ACS-PCI/抗血小板剤) ■ CS-747(日) (プラスグレル/脳梗塞/抗血小板剤) 	
癌	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-7017(日/亜) (efatutazone/PPARγ活性化剤) ■ U3-1565(米/日) (抗HB-EGF抗体) ■ U3-1287(日) (抗HER3抗体) ■ DS-2248(米) (Hsp90阻害剤) ■ DS-7423(米) (PI3K/mTOR阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ U3-1287(米/欧) (抗HER3抗体) ■ CS-1008(米/欧/日/亜) (tigatuzumab/抗DR5抗体) ■ CS-7017(米/欧) (efatutazone/PPARγ活性化剤) ■ DE-766(日) (ニモツズマブ/抗EGFR抗体) ■ PLX3397(米) (Fms/Kit/Flt3-ITD阻害剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ARQ 197(米/欧) (tivantinib/非小細胞肺癌/c-Met 阻害剤) ■ AMG 162(日) (デノスマブ/乳癌補助療法/抗RANKL抗体) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ PLX4032(米) (vemurafenib/メラノーマ/BRAF阻害剤) ■ PLX4032(欧) (vemurafenib/メラノーマ/BRAF阻害剤) ■ AMG 162(日) (デノスマブ/癌骨転移/抗RANKL抗体)
感染症	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-8958(米/欧) (ラニナミビル/抗インフルエンザ/ピオタと共同開発) ■ CS-4771 (敗血症治療剤) ■ DS-8587 (広域抗菌剤) 		<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-8958(日) (ラニナミビル/抗インフルエンザ(予防)/ノイラミニダーゼ阻害剤) 	
骨・関節	<ul style="list-style-type: none"> ■ PLX5622 (関節リウマチ治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AMG 162(日) (デノスマブ/関節リウマチ/抗RANKL抗体) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ AMG 162(日) (デノスマブ/骨粗鬆症/抗RANKL抗体) 	
免疫・アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> ■ CS-0777 (免疫抑制剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ SUN13834(米) (キマーゼ阻害剤) 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> ■ DS-5565 (慢性疼痛治療剤) ■ SUN13837 (脊髄損傷治療剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ SUN11031(米/欧) —(ヒトグレリン/COPDカヘキシア) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ SUN11031(日) (ヒトグレリン/神経性食欲不振症) ■ DD-723-B(日) (ペルフルプタン/前立腺癌・乳腺腫瘍の造影/超音波造影剤) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ KMD-3213(中国) (シロドシン/排尿障害改善/α1A受容体選択的拮抗剤)

◆2011年7月(2011年度1Q決算発表)以降の主な変更

- ステージの変更 PLX4032(メラノーマ/BRAF阻害剤/米/承認)、KMD-3213(排尿障害改善/α1A受容体選択的拮抗剤/中国/承認)、CS-747(脳梗塞/抗血小板剤/日/P3)
- 中止 DU-176b(静脈血栓塞栓(術後)/経口FXa阻害剤/米欧/P2)、SUN11031(COPDカヘキシア/米欧/P2)

本資料に関するお問い合わせ先

**第一三共株式会社
コーポレートコミュニケーション部**

**TEL: 03-6225-1126(報道関係者の皆様)
03-6225-1125(株式市場関係者の皆様)**

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく弊社の判断や仮定によるものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。したがって実際の業績等は、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。